

いまた ~正しい分別へのご協力をお願いします~

包装プラスチックの品目別の割合を分析し、正しい分別の割合や資源物の割合、食品ロスの排出状況などを目的としています。

知っていますか？正しい分別

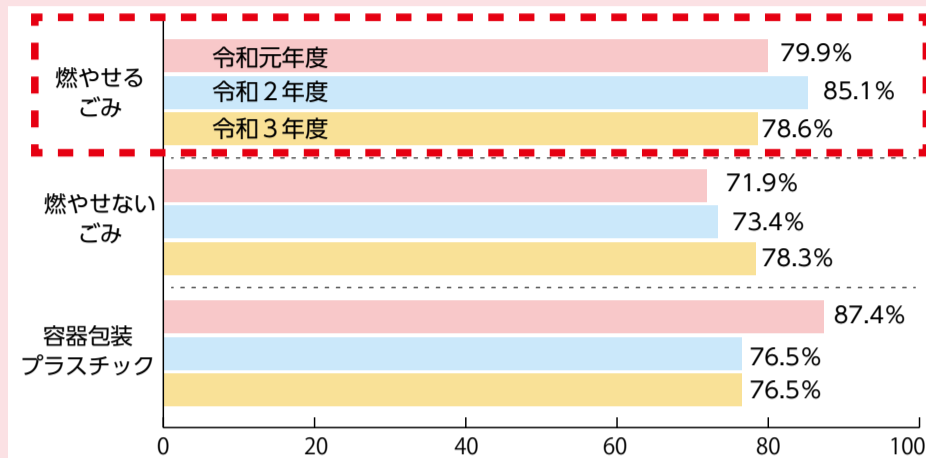
~燃やせるごみの正しい分別割合が下がっています！~

市内から出る総ごみ量のうち、約5割が「燃やせるごみ」であることから、「燃やせるごみ」を削減することがごみを減らす近道になります。

燃やせるごみでは正しく分別できている割合を令和2年度の調査結果と比較すると、85.1%から78.6%と6.5%の減少となりました。

これはコロナ禍での感染症対策として、古紙やペットボトル、プラスチックなど一定の資源物が「燃やせるごみ」として排出されている結果である一方で、リサイクル率の低下を招く要因となっています。

正しく分別されている割合



燃やせるごみとして出されています！

~古紙を正しく分別しよう！~

調布市では、古紙（新聞・雑誌・ダンボール・雑がみ）を収集しており、適切に分別・排出された古紙は資源物としてリサイクルされます。

燃やせるごみに混入した古紙の割合は、令和2年度の7.2%から8.9%と1.7%増加しています。

「分ければ資源、燃やせばごみ」を意識してしっかり分別しましょう！



燃やせるごみに混入していた古紙

食品ロスをなくそう！

~消費期限と賞味期限を正しく知ろう！~

食品ロスの中には、期限前に廃棄されている食品が含まれています。正しい知識で無駄な廃棄をなくしましょう。

● 消費期限（期限を過ぎたら食べない方がよい期限）

未開封のまま、保存方法を守って保存していた場合に、「安全に食べられる期限」のこと。お弁当やおにぎりなど、いたみやすい食品に表示されています。

● 賞味期限（おいしく食べることができる期限）

未開封のまま、保存方法を守って保存していた場合に、「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと。カップめんやスナック菓子など、消費期限に比べ、いたみにくい食品に表示されています。

消費期限



賞味期限



家庭系の燃やせるごみのうち、9.5%は食品ロスです。

食品ロスの内訳は、5.2%は未利用食品（直接廃棄）、4.4%は食べ残しです。また、未利用食品には、期限前に廃棄された食品も含まれていました。



東京たま広域資源循環組合を紹介します

多摩地域 25 市 1 町、400 万人の家庭から出される可燃ごみは、清掃工場で燃やされ焼却灰となり、日の出町にある二ツ塚処分場で最終処分されています。東京たま広域資源循環組合は二ツ塚処分場と谷戸沢処分場を管理運営している特別地方公共団体です。

二ツ塚処分場内には、エコセメント化施設があり、搬入された焼却灰を主原料として、全量エコセメントにリサイクルしています。そのエコセメントは、私たちのまちの道路の縁石や側溝、歩道の舗装ブロックなどに使われています。



二ツ塚処分場内エコセメント化施設

